

## 横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）


事業所	もみじ第五保育園
報告書作成日	平成31年3月13日（評価に要した期間 約9か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川


### 評価方法




自己評価 （実施期間：平成30年7月23日 ～平成30年8月23日）	職員が領域ごとに自己評価票を作成し、その結果を職員全員で検討、話し合いの後、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施日：平成30年9月5日、7日）	評価調査員（2名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、主任、保育士等）を行った。職員ヒアリングは2日目の午睡時に実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：平成30年8月14日 平成～8月31日）	全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し、無記名にて記入していただき、回収箱にて回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：平成30年9月5日、7日）	観察調査は、保育中（昼食時を含む）に主に各クラスにて実施した。


### 評価結果

#### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針 の共通理解と保育 課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念を法人として「命のリレーをサポートする」と定め、共働きの家庭が増え保育園へのニーズが高まっている現状を踏まえ、「お子さんはもちろん働くお父さん、お母さんにも優しい園を」目指しています。</li> <li>・ 保育理念を受け、保育方針に「心身の調和のとれた人間形成を目指す。養護と教育を一体的に支援し、健康でかつ情緒が安定する環境のもとに、健康・人間関係・環境・言葉・表現の各領域で教育し、“生きる力”の基礎となる心情・意欲・態度を育む。」を掲げ、子ども本人のことを第一に考え、尊重した内容になっています。</li> <li>・ 保育理念や方針については、「重要事項説明書」に記載し、入園時および毎年度当初の保護者との会議において詳しく説明されています。職員に対しても、入職時や会議、行事の際には理事長から詳しく説明され、「職務に関する申告書」で理念・方針を確認するとともに、その様式の中に自分の目標も記述し、園長との面談時などで指導・アドバイスを受けています。</li> <li>・ 理念・方針は各クラスや職員室等の目に付くところに掲示されています。</li> <li>・ 全体的な計画は年度末に全職員が参加して当年度の計画を振り返り、主任保育士が中心となり、見直しを行い次年度の計画に反映し、作成して</li> </ul>

	<p>います。この際、法人内のグループ園の間でも連携・集約し、より幅広い視野・視点に立つことに留意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平素から把握している子どもの状況を再度確認し、計画作成にあたりしっかり考慮することに努めています。また、地域の小・中学校との交流や、園庭開放などを通して寄せられる要望や意見を反映させるなど、地域の特性を活かすことに努めています。</li> <li>・指導計画作成にあたっては、子どもの言葉だけでなく、表情、泣き声などあらゆる表情・表現を受け止め、子供の意思や気持ちの把握に努めています。このため、「担当児制」を取り、同じ職員が同じ子供に関わるようにし、いつもと違うところがあればすぐに気付けるようにしています。</li> </ul>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前や入園直後の子どもの発達状況については、健康調査票（既往歴・予防接種の状況把握等）、母子手帳、健康診断書を提出してもらい、個人面談を実施し、その記録を児童経過記録にファイルし、職員の共通理解を図っています。</li> <li>・入園希望者には見学の時点から子どもを観察したり、保護者との面談の場を設けています。特に除去食等の対応が必要な場合は、個別に保護者とやりとりをしています。</li> <li>・所定の慣らし保育の期間の他に、その子にあった期間で慣らし保育を実施しています。</li> <li>・4月は受け入れ時、担当がそろそろような勤務体制にしています。（特別勤務体制）</li> <li>・入園時の面談で持っていると安心するものを事前に聞き、家庭で使っていたタオルや人形などの持ち込みを認め、子どもの気持ちを尊重しています。</li> <li>・担当児制により、子どもが安心して過ごせるように配慮しています。</li> <li>・在園児は進級前の半月は新しい保育室で過ごす機会を多くし、不安感をなくせるようにしています。担任のうち1名は前年度からの持ち上がりとし、継続児の安心感への配慮をしています。</li> <li>・指導計画作成にあたっては年齢別の基本的生活習慣を確認し到達目標を設定し作成しています。</li> <li>・担当児制をとることにより、個々の育ちに応じた指導計画を作成し無理なく保育ができる体制ができています。</li> <li>・指導計画立案と反省評価を行い、主任、園長が確認しています。</li> <li>・発達段階を踏まえた保育内容を取り入れています。段階的に取り組んで発達を促すように努めています。</li> <li>・0歳児は、必要に応じベビーベッドを使用しています。発達段階に応じた動きができるように、ゆったりしたスペースが確保されています。</li> <li>・1歳以上3歳未満児の保育においては、保育士は皆子どもの気持ちに共感し受け止めることを心掛けています。</li> <li>・戸外遊びを多く取り入れ、バラエティーに富んだ環境に接するようにしています。子どもが季節感を感じたり、日々豊かな気持ちを持てるように努めています。</li> <li>・おもちゃや絵本なども一人一人に行き渡るように、数多く取り揃え、ゆったりした気持ちで遊べ、けんかや取り合いにならぬようにしています。けんかが起こった場合でも保育士は双方の気持ちを受け止め、共感し、仲立ちするなどわだかまりの無いようにしています。</li> </ul>
<p>I-3 快適な施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園舎内は毎日常に清潔な状態が保たれ、危険なものが放置されていないよう、整頓されています。また、環境整備表に記録されています。</li> <li>・各保育室に温度計、湿度計が備えられており決められた時間の記録を保育</li> </ul>

<p><b>設環境の確保</b></p> 	<p>日誌に記入し、適温適湿を維持しています。また、常に自然の風が通るよう工夫を心がけています。季節により、エアコン、空気清浄機を使用し、必要に応じ濡れタオルを保育室にかけ、湿度を保つ工夫をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用した玩具を必ず水洗いし、干したり、砂場の砂を毎日日光消毒し、保育終了時には、ネコのフン対策として砂場のフタを閉めるなど、教材や遊具の清潔にも細かい点にも注意を払っています。</li> <li>・沐浴設備、温水シャワーともに完備され、毎日掃除をしています。特に、雑菌が繁殖しないように、最後に水が残らないようにしています。</li> <li>・必要な時は、随時シャワーを使用し、夏季には、濡れタオルで身体を拭く等、保育に取り入れています。</li> <li>・0歳児・1歳児は保育室を共有し、広いスペースを確保することにより、食事、午睡、遊びなど、機能別の空間を確保しています。間仕切りや衝立などで工夫し、グループ分けしたり複数の遊びができるようにしています。</li> <li>・0歳児は、個々にベビーベッドの利用をし、一人一人が安心感をもって過ごせるようにしています。</li> <li>・保育園全体として子どもにとって「居心地のよい場」になっています。</li> </ul>
<p><b>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当児制を導入していますので、1人1人の個性をしっかり把握し、大切にして個別に保育目標を設定し、それに基づいて指導計画を作成しています。目標の妥当性などについても適宜振り返り、必要に応じて修正しています。</li> <li>・保育を進める上で気になる事があれば積極的に保護者と面談したり、連絡帳でやり取りをしたりして、子どもの発達や家庭状況の変化に応じて見直しています。</li> <li>・連絡帳はその子どもの24時間を把握できるようになっています。排泄、睡眠、食事等を細かく、保護者と保育担当者が記入し「命のリレーをサポートする」という理念を実践しています。休日も保護者に子どもの生活リズムを記入してもらい、継続した情報を保育士と共有しています。</li> <li>・個別対応の変更・見直しは、保護者や複数の職員が話し合いをし、よりよい保育ができるようにしています。</li> <li>・年間及び月間指導計画を参照し、一人一人の発達に応じた計画が作成されています。</li> <li>・児童票・児童台帳は職員室で一括保管し、職員が誰でも見ることができ、一人一人の発達状況を職員間で共有できるようになっています。</li> <li>・児童票・児童台帳に変更があった場合には赤ペンで記入し、最新の状況にするとともに、変更事項は、掲示・口頭・回覧で誰でも分かるようにしています。</li> <li>・個人面談用の結果は決められた用紙に記入し、必要な事項はもれなく把握できるようになっています。</li> <li>・進級時、元担任と新担任が申し送りをできる時間を設けています。</li> </ul>
<p><b>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する子については会議で話し合い、全職員が共通の対応ができるようにしています。</li> <li>・研修参加者は研修報告を行い、職員で知識を共有できるようにしています。議事録を作成し会議に参加していない職員にも必ず伝達しています。掲示、回覧あるいは口頭でつたえるなど、誰でも分かるようにしています。</li> <li>・指導計画（月案）に配慮を要する子のことの記入欄があり担任以外の職員がクラスに入っても、そこを見れば、どう保育を進めたらよいか分かるようにしてあります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の情報を得ようと努めるとともに、得た情報を職員間で共有しています。（園内研修記録や会議議事録により確認）</li> <li>・障害児保育については、専門機関との連絡・交流を日常的に積極的に行っています。</li> <li>・担任以外も共通理解ができるよう、毎月の職員会議で取り上げ、特徴の理解をすすめています。</li> <li>・キズやけが、その他気付いたことは日誌や児童票、写真などで記録しています。</li> <li>・いつもと違う状況が発生した時は迅速な報告ができる体制になっています。（担任→主任→園長→必要があれば関係機関）</li> <li>・保護者と献立のについて定期的に話し合い、除去する食材を明確にしています。</li> <li>・除去食対応時の献立をクラスに掲示、指導計画・誤食防止として調理担当者と担任が提供時に確認をしています。会議で話し、共通認識しているとともに、具体的な取り組みとして、除去食は誰がみても明らかに違う形状のものを提供し、座る席は誤食がないように配慮しています。</li> <li>・除去食については、かかりつけの医師の診断書や指示書に基づいて実施していますが、指示書がなくても保護者の意向に沿って柔軟に対応することもあります。</li> </ul> <p>過去3年間の受け入れ状況（一時保育での受け入れを含む）：4名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時の面談を丁寧に行い、配付するプリント類だけでなく、口頭でも説明しています。</li> </ul>
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者懇談会を時々実施しており、なんでも言えるような場面を設けてあります。</li> <li>・個別にその都度対応しています</li> <li>・意見用紙は無記名方式での記載も可能にしています。郵便受けに直接投函できるようにしています。その旨園だよりでお知らせもしています。</li> <li>・行事後に意見や感想を記入できる用紙を配っています。必要であれば個別面談も行っています。</li> <li>・第三者委員に直接苦情を申し立てることができます。</li> <li>・グループ5園の園長連絡会議を毎週実施しているので要望苦情についての即対応できるようになっています。</li> <li>・現場の担任が受けた苦情は、主任→園長→理事長へと報告するシステムが出来ている為、解決策を検討し素早く対応しています。</li> <li>・全職員が理解できるよう、掲示又は回覧で周知し対応しています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ-1 保育内容</p> <p>[遊び]</p> 	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具や教材については、「自分で選び、取れる」ことを重視し、一人ひとりの遊べる量を考慮して玩具を渡し、落ち着いて遊べる環境を作っています。</li> <li>・同じ種類の本を何冊かずつ用意したり、取り合いにならないように机とイスを使用し、遊べるスペースを確保しています。</li> <li>・不足する場合はグループ園の間で貸し出すなど、調整をしながら対応しています。</li> </ul>

- ・危険のないよう、床に不用意に物を置かないなど、きめ細かく配慮した環境が確保されています。
- ・子どもの興味や発想が生かされるように、同じ玩具でも、子ども一人ひとりの発想が違うので、それを受け止め保育士が見守っています。
- ・一日の中で、動きの大きい運動遊び、動きの少ない活動を取り入れています。
- ・0、1才児は合同クラスですが、それぞれの年齢で活動する時間も設けています。
- ・園外（公園等）に積極的に出かけ、自然にふれ、地域の人と触れ合う機会をつくっています。
- ・散歩コースは季節によって組み合わせを変えるなど、四季折々の自然に触れられるように配慮がなされています。
- ・子どもとゴーヤ、ブロッコリーなどの農作物やひまわりなどのを園庭で栽培し、収穫したものを食べたり、製作に使ったりすることをおし、収穫の喜びや命の大切さを知るなどの貴重な体験をさせるようにしています。
- ・チューリップを植える時、教育的見地から、歌のように（赤・白・黄）の順に植えています。
- ・散歩や絵本を見ている時に関連している歌を歌ったりして子どもの自由な気持ちをより豊かに表現できるように努めています。2才児は個人持ちの教材（自由画帳、クレヨン）があり、自由遊びの中で好きなように絵を描いています。
- ・遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つようにしています。土曜日は、グループ園と共同保育を行っているため、異年齢児とのかかわりを持ち、年上に対する憧れや年下に対するおもいやりの気持ちを育てています。
- ・グループ園の同年齢クラスや異年齢クラスと一緒に活動する機会を多く作っています。
- ・けんか等は保育士が仲裁に入り、友だちとのかかわり方をその都度くりかえし教えています。
- ・一日の活動で戸外遊びを多く取り入れています。また、遊びの中に身体を動かす遊びを多く取り入れています。



## Ⅱ－1 保育内容

### 〔生活〕



#### 〔生活〕

- ・担任が供食をし、食事マナーや食べ方のお手本を示したり、楽しい食事時間になるように心掛けています。また、食に対する感謝の気持ちを養うため、給食に使用する食材（枝豆、しめじ、玉ねぎ等）に触れさせ、食育に繋がっています。
- ・オリジナルの陶器の食器を使用し、落ちたら壊れることも覚えさせるとともに、持ちやすさ（手の大きさ）と内容量（一日の摂取量）の両方が考えられています。食材は信頼できる生産者から納入し、旬の食材を取り入れています。
- ・調理室が子どもたちからよく見える環境であり、食に関する興味や関心が芽生えるようにしています。子どもが調理室を見ている時や食事中に調理担当者が見てまわっている時など子どもたちに声かけをしています。
- ・献立は繰り返しメニューとし、給食日誌の記録をつけていますが、これらをもとに食育会議で献立調理の工夫に役立たせるようにしています。
- ・食事状況について、食事量などを連絡帳に記入し、園と保護者が互いに把握できるようにしています。玄関にその日の給食のサンプルを置いています。
- ・午睡・休憩中は決められた時間に気温と湿度を確認しています。子守唄を

	<p>うたったり、添い寝をし、安心して心地よく眠れるように工夫しています。突然死症候群対策として生存確認をおこなっています。(0歳は5分に1回、1歳は10分に1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排泄については、うまく排泄できた時はほめ、次の意欲につながるようにしています。配付物等でも保護者に伝えていきます。1人ひとりのトイレトレーニングの進み具合がわかる表を作成し、管理しています。トイレトレーニング中は、おもらしをすることは、当たり前だととらえ、おもらしをしたらすぐ対応できるように、雑巾をたくさん用意しています。</li> <li>長時間にわたる保育のための環境を整えるため、午後のおやつはボリュームのあるものを提供し、クラス別保育以外の時間も担当児制を実施しています。</li> <li>伝言ノートを使用し、職員間の情報連絡など引き継ぎをスムーズに行っています。ローテーション勤務を実施していますが、朝又は夕に担任が保護者と顔をあわせることができるようにしています</li> </ul>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康管理に関しては連絡帳で保護者と連絡を取り合っているほか、必要に応じて登降園時に口頭で詳細に補足しています。全クラス「平熱表」を作り平熱と違う場合は即対応できるようにしています。</li> <li>毎月、身体測定を行い、子どもの状況をしっかり把握しています。</li> <li>一人一人の健康台帳等が作成され、既往歴、体質、予防接種状況等が記載されています。個人の健康に関するファイルの保管場所を確認し、必要な時には職員が見られるようになっています。</li> <li>熱性けいれん、常時服用薬のある子は、誰が見てもわかるような表を各クラスの日誌にはさんでいます。</li> <li>内科健診や歯科健診前に担当保育士及び保護者からの質問を受けています。</li> <li>内科健診・歯科健診の結果を受け、保育計画の見直しを行うとともに、保護者にその都度伝えていきます。</li> <li>嘱託医からは健診の都度、必要なアドバイスを頂き、保護者を通じ、かかりつけ医からの情報の把握にも努めています。</li> <li>感染症が出た場合は掲示板に貼り出し、保護者への告知を徹底しています。</li> <li>発熱した場合、まん延防止のための処置、保護者および周囲への警告、お迎え依頼を行ったうえで個別の保育をして待ち、保護者への引き渡しを行っています。</li> <li>入園・進級の手引きの中に登園停止基準を示すとともに、登園許可証と登園依頼書を添付しており、対応マニュアルを徹底しています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>[衛生管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備・寝具・遊具の清掃・消毒などの衛生管理に加え、子どもや職員の手洗いなどについても日常的に指導がなされています。</li> <li>職員会議の議題に必ず衛生管理の項目を取り入れ、マニュアルは誰でも見られるようになっていて、全ての職員が統一的な対応を行えるよう、組織全体で取り組んでいます。</li> <li>嘔吐処理セットは置き場所が明確に示されています。</li> <li>タオルは個人用を使用しています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安</p>	<p>[安全管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育開始前と終了時に安全点検と火気管理点検を実施しています。</li> <li>安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されています。特に睡眠、プール活動及び水遊び、食事等の場面について</li> </ul>

## 全管理 [安全管理]



(

- 大事故が発生しやすいことを踏まえて、場面に応じた適切な対応を重視しています。備蓄品もあります。
- ・月1回以上の避難消火訓練を重視し、事故や災害に備え、さまざまな事態を想定した訓練を日頃から行うことに努めています。
  - ・保護者に災害時の対応を知らせ、災害時伝言ダイヤルの試験運用を年一回保護者向けに行っています。園の電話は災害時優先電話の登録をしています。
  - ・年一回、総合防災訓練を行い、消防署の方の指導を受けています。
  - ・事故発生時のマニュアルは目につくところに貼ってあり、医療を含む救急機関の一覧表、地域防災拠点への連絡方法などが常に分かるようにファイルまたは掲示されています。
  - ・事故報告書を作成し再発防止につなげています。
  - ・保育中のケガに関しては、小さなケガであっても症状や事故が起きた時の状況について保護者に確実に説明しています。
  - ・会議でヒヤリハットを取り上げ、共通認識しています。また、見直し・改善・予防策を話し合っています。
  - ・ケガの翌日は登園時に家庭での様子を聞き、園でも経過をみています。伝言ノートでの共有、連絡帳での伝達をしていますが、状況により口頭でも伝えています。
  - ・不審者侵入時の通報体制を整え、通報訓練や避難訓練を実施しています。あらゆる場合を想定した避難体制、通報体制ができています。
  - ・不審者を想定した訓練をしています。さすまたの設置、門の施錠・警備会社につながる防災ブザーを設置しています。全職員、笛を身につけています。

## Ⅱ-3 人権の尊重



- ・子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視しないよう職員間で配慮しています。
- ・子どもと話すときは、穏やかにわかりやすい言葉を使い、子どもの気持ちや発言を受け入れるよう配慮しています。
- ・「人権に対する配慮事項マニュアル」に沿って、子どもの人格を辱めるような罰を与えたりしないこと、自尊心を傷つけるような保育を行わないことを、全職員が認識し合っています。
- ・ほっとして過ごせる場所を必要に応じ確保しています。
- ・守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生を含む)に周知しています。
- ・個人情報の取扱いについてガイドライン(特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針および規程)をつくり、全職員に周知しています。
- ・遊びの中での役割、服装や持ち物などで性別の区別をしていません。
- ・無意識に性差による固定観念で男女の区別を不当にしているか、職員同士で確認し合っています。



## Ⅱ-4 保護者との交流・連携



- ・保護者に対して入園説明会・新クラス説明会を実施していますが、その際、保育の基本方針を分かりやすく載せたパンフレットと入園進級の手引きを配付しています。なお、配付する重要事項説明書やパンフレットに保育方針を明記しています。
- ・保護者に対して、アンケートなどで保育方針が理解されているかどうかを把握しています。
- ・年1回6～7月に個別面談を実施しています。また、保護者の要望があれば、年間を通じていつでも個別面談を実施しています。




- ・連絡帳できめこまやかに情報交換を行っており、気になることがあれば口頭でも伝えていきます。
- ・保護者の相談には、担任が適切なアドバイスができるように主任または園長が助言するサポート体制を徹底しています。できるかぎり園長や主任が入って担任と2人体制で対応しています。その際、相談内容を人に聞かれなないように配慮をしています。
- ・相談記録は主任から園長に報告されるとともに、主任を中心に継続的なフォローをしています。
- ・毎月「園だより」を発行し、子どもの園生活に関する情報を提供しています。
- ・新クラス説明会で子どもの発達段階について話し、保育の進め方を理解してもらおうようにしています。
- ・個々の子どもの園生活に関する情報は連絡帳に記入して伝えていきます。
- ・前年度の3月に年間事業計画を配付し、行事日程等が分かるようにしています。
- ・6月と11月の年2回、保育参観を実施しています。なお、その他にも希望があれば、いつでも参観は可能です。
- ・保護者懇談会（7月）ではフリートーク（ほぼ45分間）の場があり、保護者どうしの交流を深められるようにしています。

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能




評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のケアプラザで子育て講座「もみじのおてて」をグループ園の3園合同で開催（月1回）し、保育所に対する要望の把握や家庭で子育て中の保護者の支援を行っています。</li> <li>・地域の子育て支援ニーズを把握するため、区の公立園長会や研修会にも積極的に参加しています。</li> <li>・地域の子育て支援ニーズに応じて、子育て事業「もみじのおてて」を地域ケアプラザの講座として開催しています。</li> <li>・また、地域での子育てを支援するサービスとして、一時保育・園庭開放・交流保育などを積極的に行っています</li> </ul>
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業の一環として、地域ケアプラザで実施する育児講座「もみじのおてて」の中で参加者の育児相談にも対応しています。</li> <li>・区主催の地域文化祭に積極的に参加し、園児の作品展示や行事の写真の展示などを行っています。</li> <li>・福祉保健センター等の関係機関の連絡先は、リスト化するなどすぐ分かるようにしています。</li> <li>・相談内容に応じて必要な関係機関に指導してもらっています。</li> <li>・関係機関との連携の担当を決めており、日常的な連携ができています。</li> </ul>






## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の 地域開放・地域コ ミュニティへの働き かけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当園の行事に地域の保護者や子どもを招待するなど、地域の団体・機関との交流を図っています。</li> <li>・学校からの申出を受けて、小学生・中学生の職場体験の受入れを実施しています。</li> <li>・近隣との友好的な関係を築く取り組みとして、駐車パトロールをしたり、運動会等の行事のお知らせを地域向けにポスターを掲示したりしています。</li> <li>・子どもの生活の充実と地域の理解を深める取り組みの一環として、地域のこども施設「こどもの杜」を利用しています。</li> <li>・区のイベントの子育て交流の場「なしかちゃん広場」に参加しています。</li> <li>・園児が散歩に出る際には、積極的に地域の人達に挨拶をしたり言葉を交わすようにしています。</li> </ul>
<p>Ⅳ－２ サービス 内容等に関する情 報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットや横浜市のホームページに当園の情報を載せています。また、地域の情報誌タウンニュースにも当園の情報を掲載しています。更に、郵便局のATMに置いてある封筒に当園の案内を載せています。</li> <li>・中学生の職場体験の受入れや、保育園探しをしている入園希望者を対象に見学を含む保育園説明会を随時行っています。</li> <li>・入園希望者の見学を含む保育園説明会で当園の基本方針や保育内容等につき細かく説明し、質問を受けています。</li> <li>・利用希望者に対応する担当者(園長)を決めており、すぐに対応できるようにしています。また、園の見学も随時行えるようにしています。なお、電話での対応も行っています。</li> </ul>
<p>Ⅳ－３ ボランテ ィア・実習の受け入 れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受入れは主任が行い、配属されたクラスの指導役の保育士からその記録が報告されます。</li> <li>・ボランティア体験者の感想文は記録としてファイルしています。掲示等で職員も目を通すようにしています。</li> <li>・中学校の担当教師と十分に打合せをしたうえで、中学生の職場体験の受入れを行っています。</li> <li>・実習生の受入れは、実習目的を全職員に周知し、理解したうえで受け入れています。実習生に対し、事前にオリエンテーションを行います。カリキュラムには実習の目的に必要な内容を取り入れています。実習時には発達段階を学びやすいように子どもの年齢の順番でクラスに入ります。</li> <li>・看護学生の実習(保育士以外)も受入れています。</li> </ul>

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人 材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用者には、3月に内定者研修(3日間)を行い社会人として保育士としての基本を教えています。また、一年目研修(2月)では、1年を振り返り新たな心構えを教えています。</li> <li>・職務に関する申告書を年度の半期終了時(9月)に提出し、自分の仕事の振り返りをし、自己評価(達成度の評価を含む)を行っています。</li> <li>・研修はそれぞれ必要と思われる者を人選する場合と、希望者を募る場合があります。研修受講者は研修報告書を作成し、職員会議で研修報告を行い全職員がその内容を共有するようにしています。</li> <li>・5園合同の法人主催の一泊研修を年1回実施しています。参加できなかった職員にも後日伝達されます。</li> <li>・会議に出席できない職員には、議事録で伝達し情報共有を行っています。</li> <li>・保育が断片的にならないように、1日を通して保育する職員と短時間職員を組み合わせ配置しています。</li> </ul>
<p>V-2 職員の方 術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の振り返りや自己評価を計画的に行うため、年1回実施する「職務に関する申告書」は、半年を振り返り、残りの期間の仕上げ目標を立てるようにしています。</li> <li>・採用1年目研修で振り返りをし、2年目の目標を立てることにしています。</li> <li>・保育士一人ひとりが自己の実践の振り返りのため、定型化された書式「職務に関する申告書」で振り返りをし、それにもとづき面談を行っています。振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連付けて行われています。</li> <li>・月ごと・週ごと・個別に指導計画を立案し保育を行っています。また、その反省評価を日誌に記録しています。</li> <li>・保育士等の自己評価としての「職務に関する申告書」の提出を踏まえて、保育所としての自己評価を行うため、職員会議の議題に取り入れています。</li> <li>・保育所としての自己評価は保育所の理念や保育の方針・全体計画に沿って行いますが、これにより、保育所の課題を明らかにし、改善に取り組みます。</li> <li>・なお、保育所としての自己評価は保護者にも伝達しています。また、行事のあとの保護者からの感想・意見を踏まえ自己評価し、その後の保育に活かしています。</li> </ul>
<p>V-3 職員の方 チベーションの維 持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人の理念・基本方針にもとづいて人材育成計画が示されています。当計画に人事基準が明確に定められ、職員に周知されています。また、年1回職員が提出する「職務に関する申告書」も人事管理に活用されます。</li> <li>・自己評価・他己評価を実施したあと、園長との面談を行います。面談の内容は理事長にも報告します。</li> <li>・当園では、クラスの担当保育士→主任→園長という報連相の流れが確立しており、その中で保育士の役割分担や責任が明確化されています。</li> <li>・職務に関する個人面談を随時行っており、その中で業務改善の提案を聴取したり、職員の満足度・要望などを把握したりしています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所として守るべき法・規範・倫理等を就業規則に載せています。</li> <li>・ 研修の中で、単に不正や不適切なことを行わないということだけではなく、どうすればよいかも知らせています。</li> <li>・ グループ内で起きた事例は、全園で共有し再発防止に繋がっています。</li> <li>・ 事務・経理・取引に関するルールや職務分掌と権限・責任を明文化したものを職員が把握できるようにしています。</li> <li>・ 事務・経理・取引について監事・理事による内部監査を実施しています。</li> <li>・ 職務の立場を名称表現していて、それぞれの責任を明確にしています。</li> <li>・ ゴミの分別・減量化のための取り組みを行っています。工作に廃材やプリンカップを利用したり、包装紙を折り紙に使うなど、ゴミの減量化・リサイクルのための取り組みも行っていきます。</li> <li>・ 水遊びのあとの水は庭に水撒きを使用したり、節電にも配慮しています。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当園の理念・基本方針は、明文化したものを掲示したり、「職務に関する申告書」にも記載して周知しています。</li> <li>・ 「いのちの話(理念)」を職員に配付しています。</li> <li>・ 定例職員会議に理事長が出席し、理念・基本方針について話しをしています。</li> <li>・ 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等と意見交換をしています。重要な問題については、理事長主導のもとにグループ園の園長が集まる週1回開催の園長連絡会議で議論されます。</li> <li>・ 保育園運営上の重要な変更事項については、事前に変更案を提示し、意見を集約したうえで決定するルールを職員に周知させています。</li> <li>・ スーパーバイズできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがあります。</li> <li>・ 主任は個々の職員の勤務表の作成や早番・遅番などの1日の職員の配置状況の確認を行います。また、主任は職員と情報交換を行い、何か問題があれば園長に報告するようにしています。</li> </ul>
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所の運営に影響のある重要な情報は、グループ5園の園長連絡会議で話し合わせ、決定したことは主任や一般職員にもきちんと伝達されています。</li> <li>・ 外部環境の変化等に対応するため、必要なことは文書で全職員に周知し迅速な対応を行っています。</li> <li>・ 時代の変化・特徴を踏まえ、保護者のニーズに合った保育を実施するため、園の理念・保育方針をどう組み合わせるのかについて常に検討を行っています。</li> <li>・ 中長期的な計画を作成し、それを踏まえた単年度の計画が作成されています。</li> <li>・ 次代の保育所の運営に備え、サービスの新たな仕組みを検討するとともに、幹部職員は計画的に後継者の育成に取り組んでいます。</li> </ul>

## 利用者家族アンケート

### 〔結果の特徴〕

#### ◆実施方法

- ・ 保育園から全園児の保護者に配布し、無記名にて回答。
- ・ 評価機関が設置した回収箱に各保護者が投函し、評価機関が回収。

◆配布数：27                      回答数：26                      回収率：96.3%

※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

◆園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて65.4%で、その基本理念や基本方針について、「賛同できる」と「まあ賛同できる」と答えた保護者を合わせた割合は100%であり、非常に多くの保護者の賛同を得ています。

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的高かった項目（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が90%以上）は下記のとおりです。

○保育園の基本理念や基本方針について

- ・ あなたは、保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。（100%）

○保育園のサービス内容について

- ・ 入園前の見学や説明など、園からの情報提供について（92.0%）
- ・ 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応について（92.0%）
- ・ 保育園での1日の過ごし方についての説明について（96.2%）
- ・ 費用やきまりに関する説明について（96.2%）

○日常の保育内容について

「遊び」

- ・ 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについて（100%）

「生活」

- ・ 給食の献立内容について（96.2%）
- ・ 基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについて（96.2%）

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・ お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて（96.2%）

○園と保護者との連携・交流について

- ・ 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について（92.3%）
- ・ 園の行事の開催日や時間帯への配慮について（96.2%）
- ・ お子さんに関する重要な情報の連絡体制について（92.3%）

○職員の対応について

- ・ あなたのお子さんが大切にされているかについて（96.2%）
- ・ あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについて（100%）
- ・ 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて（92.3%）

○保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか

- ・ 総合満足度は（96.2%）

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的低かった項目（「不満足」と「どちらかといえば不満足」を合わせた割合が20%以上）は下記のとおりでした。

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・ 施設設備について（26.9%）
- ・ 外部からの不審者侵入を防ぐ対策について（26.9%）

○園と保護者との連携・交流について

- ・ 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について（26.9%）

◆自由意見について

○保育園に対する御礼や感謝のコメントが多数寄せられましたが、一方で「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」や「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会についてもう少し増やして欲しい」「園での子どもの様子をもう少し詳しく知りたい」などの要望などがありました。

◆まとめ

○総合満足度は98.2%と極めて高くなっています。

○「保育目標や保育方針についての賛同」「日常の保育内容（「遊び」と「生活」）」と「お子さんが入園する時の状況（対応）」「職員の対応」についての満足度が特に高く、子どもが楽しく充実した日々を過ごしていることを実感し、園に対する信頼と感謝の気持ちの表れと思われれます。

利用者アンケート集計結果（もみじ第五保育園）

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
	3	14	7	2	0	0	26
	11.5%	53.8%	26.9%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	11	6	0	0	0	9	26
	42.3%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	34.6%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	9	10	1	0	6	0	26
	34.6%	38.5%	3.8%	0.0%	23.1%	0.0%	100.0%
その他・							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	9	15	1	0	1	0	26
	34.6%	57.7%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
その他・							
園の目標や方針についての説明については	10	13	1	0	2	0	26
	38.5%	50.0%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	100.0%
その他・							
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	14	10	1	1	0	0	26
	53.8%	38.5%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
その他・							
保育園での1日の過ごし方についての説明には	10	15	1	0	0	0	26
	38.5%	57.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他・							
費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	12	13	1	0	0	0	26
	46.2%	50.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他・							

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	9	13	1	1	2	0	26
	34.6%	50.0%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%	100.0%
その他							
年間の保育や行事	8	9	4	0	5	0	26

に、保護者の要望が活かされているかについては	30.8%	34.6%	15.4%	0.0%	19.2%	0.0%	100.0%
	その他						

問4 日常の保育内容について  
「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	13	9	0	0	4	0	26
	50.0%	34.6%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	100.0%
	その他						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	13	7	3	0	3	0	26
	50.0%	26.9%	11.5%	0.0%	11.5%	0.0%	100.0%
	その他						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	11	10	1	0	4	0	26
	42.3%	38.5%	3.8%	0.0%	15.4%	0.0%	100.0%
	その他						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	8	11	4	0	3	0	26
	30.8%	42.3%	15.4%	0.0%	11.5%	0.0%	100.0%
	その他						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	12	14	0	0	0	0	26
	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	10	12	2	0	2	0	26
	38.5%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	100.0%
	その他						

「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	19	4	2	0	1	0	26
	73.1%	15.4%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	18	7	0	0	1	0	26
	69.2%	26.9%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
	その他						
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	14	11	1	0	0	0	26
	53.8%	42.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	12	11	0	0	3	0	26
	46.2%	42.3%	0.0%	0.0%	11.5%	0.0%	100.0%
	その他						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	13	3	3	1	6	0	26
	50.0%	11.5%	11.5%	3.8%	23.1%	0.0%	100.0%
	その他						

については							
お子さんの体調への 気配りについては	18	5	2	1	0	0	26
	69.2%	19.2%	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中にあったケガ に関する保護者への 説明やその後の対応 には	16	7	2	0	1	0	26
	61.5%	26.9%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%

#### 問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	8	10	6	1	1	0	26
	30.8%	38.5%	23.1%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着い て過ごせる雰囲気にな っているかについて	12	13	0	0	1	0	26
	46.2%	50.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵 入を防ぐ対策につい ては	8	10	5	2	1	0	26
	30.8%	38.5%	19.2%	7.7%	3.8%	0.0%	100.0%
感染症の発生状況や 注意事項などの情報 提供については	12	11	3	0	0	0	26
	46.2%	42.3%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

#### 問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別 面談などによる話し 合いの機会について は	8	11	5	2	0	0	26
	30.8%	42.3%	19.2%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示など による、園の様子や 行事に関する情報提 供については	11	13	0	2	0	0	26
	42.3%	50.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
園の行事の開催日や 時間帯への配慮につ いては	13	12	1	0	0	0	26
	50.0%	46.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
送り迎えの際、お子 さんの様子に関する 情報交換については	11	7	5	2	1	0	26
	42.3%	26.9%	19.2%	7.7%	3.8%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重 要な情報の連絡体制 については	12	12	0	0	2	0	26
	46.2%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事 への対応には	11	11	3	0	1	0	26
	42.3%	42.3%	11.5%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
開所時間内であれば 柔軟に対応してくれ	14	8	2	0	2	0	26
	53.8%	30.8%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	100.0%

るなど、残業などで 迎えが遅くなる場合 の対応については	
------------------------------------	--

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが 大切にされているか については	15	10	0	0	1	0	26
	57.7%	38.5%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
あなたのお子さんが 保育園生活を楽しん でいるかについては	22	4	0	0	0	0	26
	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお 子さんや障害のある お子さんへの配慮に ついては	11	5	0	0	10	0	26
	42.3%	19.2%	0.0%	0.0%	38.5%	0.0%	100.0%
話しやすい雰囲気、 態度であるかどうか については	16	8	1	0	1	0	26
	61.5%	30.8%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応 については	13	10	3	0	0	0	26
	50.0%	38.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	13	12	1	0	0		26
	50.0%	46.2%	3.8%	0.0%	0.0%		100.0%

## 利用者本人調査（保育観察）

### もみじ第五保育園 保育観察

・月齢、子ども一人一人の成長を考慮して、0、1歳児で一クラス。同じ部屋で保育。

・環境

「ひよこ」、「りす」、「うさぎ」の3つのクラスに分けられています

園児27名で広い部屋 廊下を挟んで向かい側にゆったりとしたトイレ、沐浴設備を備えています。

・遊び

月齢の高い低いでかなり成長も異なるので遊びもまちまちです。保育室内をよちよちと歩きまわる子ども、保育士に絵本を読んでもらって真剣に聞いている子ども、おむつ替えをしてもらっている子どもなどさまざまでした。

廊下と保育室との間は1mくらいの低い仕切りがあり、廊下からそっと見ているとこちらに気付き、反応は様々でした。我々に寄ってくる子ども、怖がっている様子の子など色々いましたが、保育士に「大丈夫よ。みんなが元気に遊んでいるところを見に来てくれたのよ。」と言われるとすぐに落ち着きを取り戻しました。

・排泄

一部の子どもは保育士におむつを替えてもらっていましたが、静かにじっとして保育士に馴れ、信頼している様子でした。



・食事

メニューはカレーライスで、0歳児3名は離乳食でした。また、0歳児の一部はデザートのリンドはすりおろしてもらっていました。スプーンを使って上手に食べる子、まだぎこちない子、保育士に手伝ってもらう子など様々でしたが、発達の過程を表していることが感じられました。直ぐに上手になっていくことは容易に想像されます。

・午睡

部屋をカーテンで暗くしてもらいみんなよく寝ていました。保育士はその間に寝ている様子を一人ひとり確認し、必要に応じて伏せの子は静かに向きを変えたり注意が子どもに集中しているようでした。その間に連絡帳を記載し、同時にマルチワークで大変さを直に感じる事ができました

## 事業者コメント

平成30年度、初めて受審しました。評価項目に沿って、具体的な取り組みなどを出し合い、日々行っている事柄（1）運営（2）子どもや保護者に対する関わり（3）人材育成（4）保育の質の向上等を振り返り、再確認出来ました。保育の根拠となる当園のマニュアルは、より分かりやすく、使いやすさを視点に整理しました。同時に行われた保護者（利用者家族）アンケートでは、日々の保育内容（養護、教育）について、保護者の満足度が高い結果になりました。園としては大きな自信につながりました。要望、不満など保護者からのご意見については、今後の課題として受け止め、改善等を検討していきます。経験年数が少ない職員が多い当園ですが、今後も更なる保育の質の向上を目指し、日々、子どもたちのために、職員の“チーム保育”によるおだやかな保育をしていきます。

もみじ第五保育園